



お風呂では子どもから目を離さないで！



事例 1

親が洗髪のため、1分ほど目を離した際に、50センチ程お湯が入った浴槽で子どもがうつ伏せになり溺れていた。すぐに人工呼吸の処置を行い、救急車を呼んだ。(当事者：2歳)

事例 2

兄2人と入浴していた子どもが浴槽に急に沈み、その後仰向けで浮いた。親を呼んで浴槽から引き上げたが、子どもはけいれんし顔面そう白となっていたため、急いで救急要請をした。(当事者：3歳)

.....ひとことアドバイス.....

- 家庭の浴槽で子どもが溺れる事故が報告されています。中には命に関わる重篤なケースもあり、注意が必要です。
- お風呂では、ちょっとした油断が大きな事故につながります。子どもから目を離さないようにしましょう。
- 「親が洗髪しているときは子どもを浴槽に入れない」「別の子どもの世話のために浴室を離れる際は、浴室に子どもを残さず一緒に移動する」「子どもたちだけで入浴させない」などの対策が大切です。



さぼーとくん